

第4回策定委員会の意見への対応(都市マス)

No	指摘・意見	対応方針	該当ページ
議題1 稲沢市都市計画マスタープランの全体構想について			
	意見なし		
議題2 稲沢市都市計画マスタープランの地域別構想及び重点施策について			
1	柿沼委員 地域別に自転車で行けるような距離で体育館を建設してほしい。	上位計画である総合計画との整合や財政状況もあり、体育館を新築することは難しいため、小学校等の既存の施設をうまく活用しながら、地域住民が運動できる環境を確保していきたいと考えています。	
2	佐藤委員 ワークショップでは各地域のまちづくりのキャッチコピーをつくったが、計画書に反映をしないのか。	必ずしもまちづくりの目標とリンクしないキャッチコピーとなっているため、計画の本文には記載しないこととしました。なお、ワークショップの成果としては、キャッチコピーについても記載する予定です。	
3	千頭副委員長 既成市街地において空き家の活用を進める方針があり、一方で新市街地を整備するという方針は、一見すると齟齬があるように思われる。論理立てて記述する必要があると思う。	ご指摘を踏まえ、全体構想P30「 <b>■都市拠点の形成に資する新たな市街地整備</b> 」に既成市街地における定住人口を維持しつつ、新たな市街地整備を図る旨を追記しました。	P30
4	千頭副委員長 下津地域において、広い範囲が産業立地の推進と示されているが、既存集落に配慮する旨を記述してはどうか。	ご意見を踏まえ、既存集落を除いた産業立地を推進する区域を図に示しました。	P76
5	千頭副委員長 一宮西港道路は構想段階なので、地域別構想の図面のスケールで示す場合は、工夫する必要があると思う。	一宮西港道路は全体構想の道路整備の方針図に表記しているため、地域別構想では文章で触れるのみとし、地域別構想図からは削除します。	P60 P64
6	栗田委員 重点施策のなかに歴史まちづくりゾーンとあるが、景観のコントロールについては、触れていない。	ご意見を踏まえ、小正地域におけるまちづくり方針の「景観」の記述を「尾張大國霊神社(国府宮)周辺において歴史的な雰囲気を感じられる景観の形成を検討」に修正しました。	P79
7	竹内委員長 「地域交流拠点のイメージについて」が「1. 地域区分」の次のページに記載されているが、どこに入れ込むかは考える必要がある。	将来都市構造の「①拠点の配置」に地域交流拠点のイメージについて整理しました。この中で、コミュニティバス接続便とつながる集落についても、考え方を追記しました。	P23
8	竹内委員長 コミュニティバス接続便とつながる集落は、小さな拠点として記述を加えられないか。		
9	竹内委員長 祖父江地域において「名鉄尾西線が通っているものの」とあるが、対応が示されていない。 また、森上駅から国府宮駅への基幹バスサービスが必要だと思う。	現状と課題の文章を「 <b>「鉄道やバス交通の便利さ</b> 」の満足度が低いものの、地域東部に名鉄尾西線が通っており、4駅設置されています。」に修正しました。 基幹バスサービスについては、全体構想P39における「 <b>公共交通のネットワーク形成</b> 」のなかで「 <b>鉄道・路線バスを含む体系的な公共交通のネットワーク形成を検討</b> 」の記述に基づいて、今後検討していきます。また、森上駅から国府宮駅を結ぶ(都)南大通線及び(都)祖父江稲沢線については、公共交通の軸として役割を追記しました。	P26 P39 P50
10	竹内委員長 平和地域は市外の名鉄津島線の駅と密接なつながりがあると思うので図面に市外の鉄道を表記してはどうか。	ご意見のとおり、図中に市外の鉄道を表記しました。	P56
11	竹内委員長 明治地域の「地域の整備方針」は他地域の表現と統一し、「地域のまちづくり方針」に修正すること。	ご指摘のとおり修正しました。	P59